

1村1自然エネルギー プロジェクト

平成 25 年 6 月 3 日



団体名 山ノ内町

職氏名 山ノ内町長 竹節 義孝



山ノ内町は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要			
取組の名称	山ノ内町雪氷熱利用パイロットモデル事業 「雪冷熱利用農産物等貯蔵施設（雪室）の整備・活用」			
取組の主体	山ノ内町			
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	—			
普及する自然 エネルギーの種別等	雪氷熱利用			
取組の目的	地域特有の自然エネルギー（雪冷熱）を活用した農業・観光など地域産業の活性化			
地域関係者との協働 の内容	町内の関係者（農業者、民間事業者、団体等）とワーキングチームを組織してプロジェクトを推進			
プロジェクトの部門	①地域づくり			
取組（事業）の段階	②実施段階			
取組の概要	平成 24 年度はプロジェクト推進のためのワーキングチームの立ち上げ及び雪室の詳細設計を完了し、平成 25 年度に施設を整備するとともに雪中貯蔵品のブランド化や販売戦略の研究等をスタートする。			
事務局担当者の 連絡先	担当者所属	総務課	氏名	田村 英則
	TEL	0269-33-3111	email	kikaku-zaisei @town.yamanouchi.nagano.jp
備 考				

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所を下線を引いてください。



区 分	内 容
取組の内容	<p>平成23年度策定「雪氷熱利用に係る詳細ビジョン」で検討した「山ノ内町雪氷熱利用パイロットモデル事業：須賀川地区雪冷熱利用農産物等貯蔵施設（雪室）整備事業」の概略設計（概略検討）結果を受けて、平成24年度に地元（須賀川地区）の農業者や施設（雪室）の利活用を希望する町内事業者・団体など地域関係者と連携して事業推進のためのワーキングチームを立ち上げるとともに、ミーティングや勉強会を重ねながら概略設計に基づく詳細設計を取りまとめる。また、施設整備後のスムーズな運用を目指して、投雪方法・商品搬出入・利用料など各種運用シミュレーションの検討を進める。</p> <p>平成25年度に施設を整備し、その冬季から投雪作業を行うなど運用を開始する。なお、ワーキングチームによるミーティングは継続して実施していくこととし、施設の運用について引き続き検討調整を進めていくとともに、さらには雪中貯蔵品のブランド化や販売戦略といった施設整備後の具体的活用方法について一層研究を深めていく。</p>
取組を行うコミュニティの区域	山ノ内町全域
構成員の役割	山ノ内町がプロジェクトをマネジメントしていくとともに、町内関係者等が主体的にワーキングチームへ参加いただくことにより、相互連携の上でプロジェクト推進を図る。
現に活動しているかの有無	現に活動中
活動の成果等の帰属	町民・町内事業者の間で活動成果を広く共有することにより、町内他エリア・他分野における同様の取組の普及拡大を図る。また、町外に向けても取組のアピールを兼ねた積極的な啓発活動を行うなど成果の普及に努める。
普及推進体制	普及推進事業はプロジェクトマネージャーの山ノ内町が中心となって担当するものとし、町ホームページ等への情報掲載などを積極的に行う。
取組の有効性	雪氷冷熱の有効利用によりエネルギー資源の節約や環境負荷の低減につながるとともに、農産物等の雪中貯蔵の優位性を活かした地域商品のブランド化等が併せて期待できる。
継続性及び発展性	町内他エリアでも同様の取組の普及が期待できる。また、雪そのものを有効利用する取組も積極的に進めており、町民の環境意識の向上等に資する。
関係法令の手続き状況	—
団体設立年月日	—
ホームページ	http://www.town.yamanouchi.nagano.jp/
備 考	

添付書類 プロジェクトの概要書（別紙）、取組の内容の分かる資料（写真）